



TSW20×D40 イナズマアンカー施工方法

(鉄筋に干渉されない接着系偏心あと施工アンカー工法)

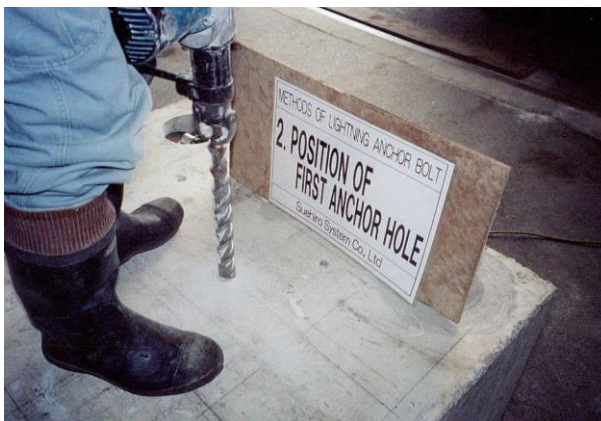
- ① イナズマアンカーボルトと接着剤を用意する。
 (接着剤はイナズマアンカーボルトに付属品として付いてきます)



<必要特殊工具>

- φ28穿孔キリ 250L 以上 (φ25 キリでも可)
- φ100ハンドグラインダー
- φ100コンクリートカッター刃
- 接着剤 (付属品 EL-350)
- 接着剤用注入ガン (EL-350 用)
 (注入ガンは必要により御注文ください)

- ② 墨出し位置に穿孔し、鉄筋と遭遇します。(第1アンカーボルト孔が鉄筋と遭遇)



M20 のケミカルアンカーボルト用の穿孔としてφ28 (φ25) のドリルで孔をあけようとしてします。

<マーキング及びアンカーボルト孔穿孔>



<穿孔位置に鉄筋干渉>

鉄筋と遭遇したら穿孔を中断し、掃除して、鉄筋の配置の方向を確認してください。

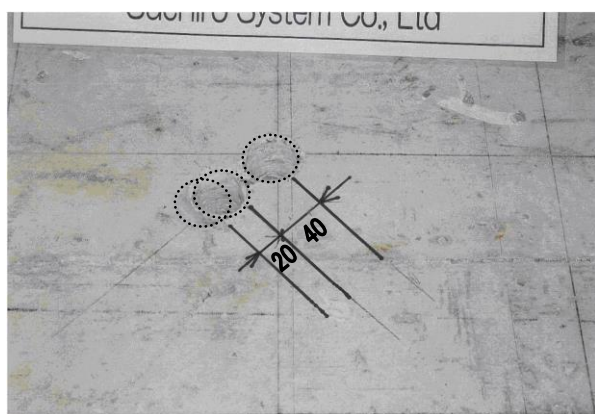
- ③第1 アンカーボルト孔より、偏心距離※（40mm）斜め方向に、第2 アンカーボルト孔位置をマーキングし、穿孔する。→ 正規寸法長さ（210mm）の穿孔を行う。



<第2 アンカーボルト孔の穿孔>

鉄筋の存在しない方向に、第一アンカーボルト孔心より、40mm 偏心させた位置にφ28（φ25）キリの孔を深さ210mmまで穿孔してください。（斜め方向が鉄筋の存在する確立が少ない）

- ④さらに20mm 斜め方向に深さ110mmの穿孔を行う。



<さらに20mm 偏心して第3の穿孔を行う>

この時、ドリル先は斜めに向けて穿孔してください。

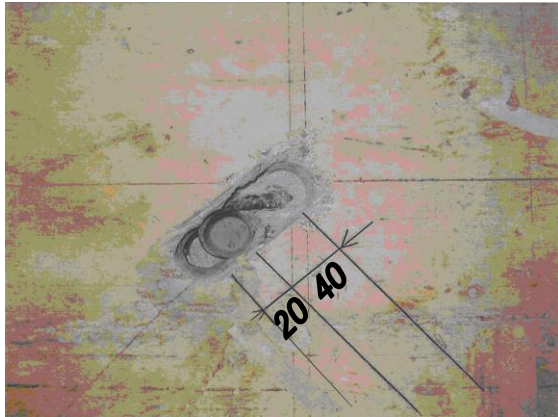
- ⑤3つのアンカーボルト孔を連結する。

ダイヤモンドカッターでコンクリート表面を切り込み、ドリル刃を左右に回転しながら動かして研る。

イナズマアンカーボルト連結部がすっぽり入り、連結部がコンクリート表面より5~7mmほど窪ませる連結孔をあける。（接着剤を注入する前に、イナズマアンカーボルトをセットしてすっぽり収まることを、確認してください。）



<コンクリート表面をカッター切り>



<アンカーボルト孔連結>

cf.
添付穿孔要領をご参照ください。

- ⑥穿孔部をブラッシングする。
- ⑦ブロワーにより清掃する。
- ⑧穿孔部を再度ブラッシングする。
- ⑨ブロワーにより清掃する。

穿孔部の清掃がアンカーボルト付着力の決め手です。
2回繰り返して、ブラッシング、清掃をお願いします。
水分は乾燥させてください。

- ⑩接着剤を注入する。
(当社指定品を必ず使用してください)

- ⑪イナズマアンカーボルトをクッションハンマー等で打込む。(あるいはボルト頭を養生して手で押し込む。)



<接着剤注入>

⑫イナズマアンカーボルトセット完了



<イナズマアンカーボルト取付完了>



<イナズマアンカーボルト取付>

コンクリート表面より、5mm～7mm イナズマアンカーボルト連結部表面を窪ませて、設定してください。

接着剤は、コンクリート表面、壁面と同じ平面で仕上げてください。余分なものはヘラ等で除去、また、接着剤面にコンクリート穿孔時のコンクリート粉を撒いてください。表面が美しく仕上がります。24時間養生して完成です。

⑬引抜試験



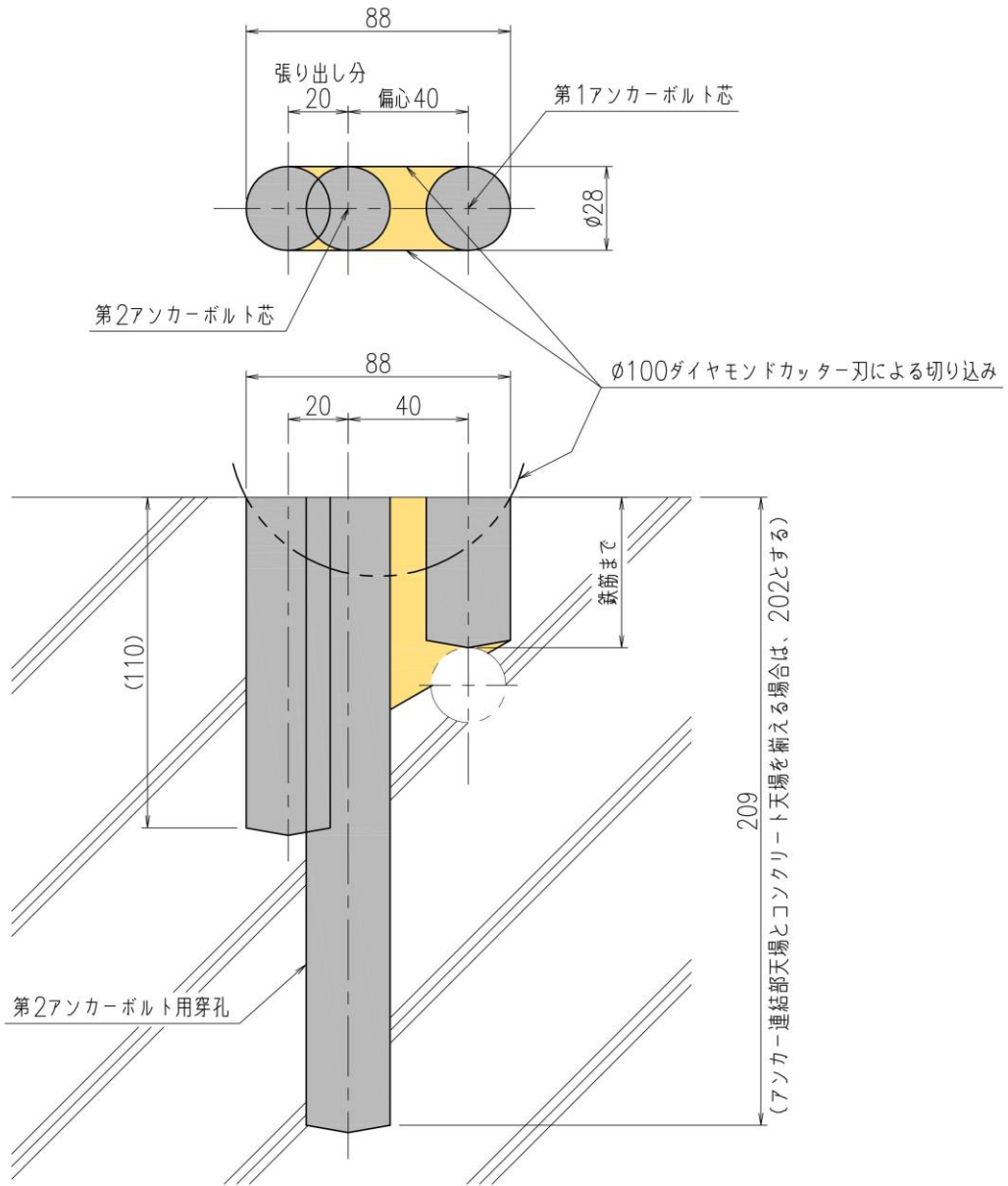
<引抜試験>

24時間養生後、カタログの長期許容張力で、アンカーボルトの引抜試験を実施してください。

この時、連結部の上面に空間を設けて、試験を行ってください。

引抜力は、日本デコラックス(株)標準タイプケミカルアンカーR-19の長期許容引張強度を参考とし、38.3KNとしてください。

TSW20×D40の穿孔要領



- 穿孔部分
- 連結部分 (ドリルを回転しながら横移動させ削る)

cf. () 寸法は状況判断必要。